

環境法政策学会 2025 年度大会「分科会」について

開催日時：2025 年 6 月 14 日（土）14 時開始・16 時終了（予定）

ZOOM を使用してのオンライン開催です。ZOOM 情報は 6 月上旬に案内いたします。
分科会の時間配分は、報告 20 分、コメント 5 分、質疑応答 5 分です。

第一分科会報告〔座長：鶴田順会員（明治学院大学）〕

I アメリカ土地利用規制における公的ニューサンスの位置づけ

（報告者：菅澤紀生（弁護士）/コメンテーター：正木宏長（立命館大学）

II モンゴルにおける環境公益行政訴訟制度の最新動向と最高裁判所による法律の公権解釈との関係

（報告者：スフバータル・スフチョローン（モンゴル国立大学）/コメンテーター：山田浩成（アジア経済研究所）

III 気候正義の実現に向けて一若者が主導する世界の気候変動訴訟

（報告者：宮崎紗矢香（上智大学）/コメンテーター：池田直樹（関西学院大学）

IV 気候変動訴訟における判決の履行確保に関する実証的考察

（報告者：一原雅子（京都大学）/コメンテーター：辻雄一郎（明治大学）

第二分科会報告〔座長：川合敏樹会員（国学院大学）〕

I 世界自然遺産の保全と利用に向けて：小笠原、奄美、知床の 3 地域を比較して

（報告者：織朱實（上智大学）/コメンテーター：遠井朗子（酪農学園大学）

II ネオニコチノイド系農薬問題をめぐる課題構造と予防的な法的制御に関する検討（仮）

（報告者：中山敬太（日本都市センター）/コメンテーター：橘高真佐美（弁護士）

III 最近の原発差止訴訟判例の動向について

（報告者：神戸秀彦（関西学院大学）/コメンテーター：長島光一（帝京大学）